

**製品名: HAND1 (リン酸化 Ser98) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04756**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

**抗原情報**

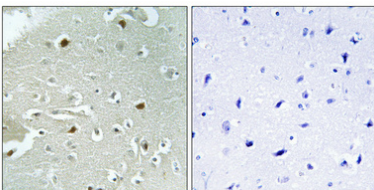
遺伝子名	HAND1 HAND1; BHLHA27; EHAND; Heart- and neural crest derivatives-expressed protein 1; Class A
別名	basic helix-loop-helix protein 27; bHLHa27; Extraembryonic tissues; heart, autonomic nervous system and neural crest derivatives-expressed protein 1; eH
遺伝子 ID	9421.0
SwissProt ID	O96004
免疫原	抗血清は、ヒト HAND1 の Ser98 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

## 背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、基本的なヘリックス・ループ・ヘリックス転写因子ファミリーに属します。この遺伝子産物は、発達中の心室腔で非対称に発現し、心臓の形態形成に重要な役割を果たす、密接に関連する2つのファミリーメンバーであるHANDタンパク質の1つです。相補的に作用するこれらのタンパク質は、右心室と大動脈弓動脈の形成に機能し、先天性心疾患のメディエーターとして関与していることが示唆されています。さらに、この転写因子は初期の栄養芽細胞分化に必要である可能性が示唆されています。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能：初期の栄養芽細胞分化と心臓の形態形成に不可欠な役割を果たします。成人では、心臓特異的遺伝子の継続的な発現に必要となる可能性があります。DNA配列5'-NRTCTG-3' (非標準的なEボックス) に結合する。類似性：1つの基本ヘリックス・ループ・ヘリックス (bHLH) ドメインを含む。サブユニット：効率的なDNA結合には、別のbHLHタンパク質との二量体形成が必要である。TCF3遺伝子産物E12およびE47、HAND2およびHEY1、HEY2およびHEYL (ヘアリー関連転写因子) とホモ二量体およびヘテロ二量体を形成する。組織特異性：心臓。、

## 研究分野

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。